



大阪YWCA

10 2025

<http://osaka.ywca.or.jp>

YWCA (Young Women's Christian Association)は、キリスト教を基盤に、世界中の女性が言語や文化の壁を越えて力を合わせ、女性の社会参画を進め、人権や健康や環境が守られる平和な世界を実現する国際NGOです。

「私はこうにいる」仮放免の子どもたちの

いのちと未来を守りたい

大嶋 果織



日本で暮らす高校一年生のアズ・ブローマさんの夢は、保育士になることだ。そのために大学に進学したいと思っている。でも、アルバイトをすることもできないし、県境を越えて気軽に遊びに行くこともできない。就労禁止で移動の自由もない

「仮放免」の身だからだ。彼女は言う。「今、私は当たり前ができない状態で苦しいのです。私の存在が日本からなくなっているかのようです」、「人権は人として自由に生きることと言うのに、なぜ私には人権がないのだろう」と。

の経験や思いを作文にしたのだ。それをもとに制作・出版されたのが絵本『私は十五歳』である（発行：イマジネーションズ・プラス、2024年）。先の紹介はその絵本からだ。

表されたからだ。

巻末の解説によると、「仮放免」とは、「本当は、入国在留管理局（略称 入管）という施設に『収容』されて、日本から『強制送還』されるはずの人を、一時的に収容施設の外に『仮』に『放免』すること。日本にはアズ・ブローマさんのような仮放免の未成年者がたくさんいる（2022年末で約300人）。

今、この仮放免の子どもたちがその家族と共に、次々に日本から追い出されているという。今年5月に法務大臣の指示によ

り、「ルールを守らない外国人を速やかに我が国から退去させるための対応策」として、「国民の安全・安心のための不法滞在者ゼロプラン」（出入国在留管理庁ホームページ参照）が発

で、暴力的であることか。国家によるヘイトクライムだとわたしは思う。そのような国の姿勢が、「日本人ファースト」に象徴される排外主義的風潮を後押ししているとも言える。

「アズ・ブローマ」とは「私はここにいます」という意味だという。実名を使いたかったが、差別の標的にされることを周囲が懸念して仮名になった。彼女は言う。「外国人でもみんなと同じで、命は一つだけ、それみんな平等だと思っています」。心から同意する。たくさんのアズ・ブローマさんのいのちと未来を守り、共に生きていきたいと切に願う。

おおしま かおり

日本基督教団の教会で伝道師として働いた後、日本キリスト教協議会（NCC）教育部に勤務。子どもの権利や性差別問題に取り組み。現在、日本キリスト教協議会（NCC）総幹事ならびに同教育部総主事代行。



10月2日は国際非暴力デーです

気軽にできる非暴力運動――

イスラエル占領政策への経済的抗議

降は、ガザ市民への集団虐殺に対して国際的な非難が強まっています。

パレスチナ市民が呼びかけ2005年から続くBDS運動

BDS運動 (Boycott, Divestment, Sanctions)

経済的抗議とは、不当な人権侵害政策に加担している企業や団体に対し、不支持を表明する行動です。ボイコットという言葉には、過激なイメージがあるかも知れませんが、過去には、インドの独立運動や、米国の公民権運動の発端となったバスボイコットなど、歴史のある国際的な非暴力運動です。

国連や人権団体は、イスラエルによるパレスチナ占領地での入植や市民への攻撃について、長年にわたり、国際法違反であると報告しています。特に、2023年10月7日以

じ行動を呼びかけることです。このQRコードのインスタグラムでは、普段から実践できるBDS運動をわかりやすく紹介しています。

@watashiwakawanai



カワナイ

BDSの成功例と影響

これまでに、いくつかの大企業がBDS運動の圧力を受けて事業を見直したとされています。たとえば、仏企業

ボイコットの対象は、組織や企業、文化・学術も含まれます。ボイコットの方法は、BDS運動が問題にしている企業の商品やサービスを購入しないことや、SNSで一次情報付きで事実を共有し、同

ルでの公演をキャンセルした海外アーティストもいます。10・7以降は、BDSに再び注目が集まっています。世界各地でデモやキャンパス抗議が広がり、日本でも学生や市民団体が、ボイコットスタンディング等で声を挙げています。そんな中、国際司法裁判所（ICJ）による集団虐殺防止命令を受け、伊藤忠商事がイスラエル軍事産業大手「エルビット・システムズ」との協力関係を終了しました。海外の一部メディアは、日本におけるボイコット運動も併せて報道しています。



国際的なボイコット運動は、国軍によるクーデター以降、自国民への弾圧が続いているミャンマーでも、国軍系列資産に対して起こっています。今後も、ボイコット運動は、市民が非暴力で国際法や人権遵守を実現できる運動として、続いていくでしょう。

《補足》BDS運動は、特定の民族・宗教・国籍の人々への偏見や差別を意図するものではありません。

(文責 編集部)



日本におけるBDSガイドライン



縁の糸

「絶対こっちでしょ!」と

32年前、日本語教師としての進路の2者択一を迫られた私の背中を強く押してくれたのは、当時、日本語教師養成講座の担当職員のYさん。私は、この選択で渡米することに。アメリカでは、偶然出会った日本人女性が、なんと中学時代に新聞記事で読んだ人物感銘を受け、新聞写真のショットまで鮮明に覚えていた。彼女も私の人生を大きく切り開いてくれた。

この4月、完全引退を決めていた私に、Yさんからの「声」再び。あれよ、あれよという間に想定外の方に。現在、彼女の古巣である中国帰国者支援事業でお世話になっている。偶然のようでいて、実は好奇心と一歩踏み出す力がめぐり合わせてくれた機会。クルンボルツ（教育心理学者）の「計画された偶発性」という言葉が、今胸に落ちる。

(職員 富田 美幸)



韓国YWCA職員ウンビさん

日本YWCA主催 日韓カンファレンス 7月20日～7月23日

第12回日韓YWCAカンファレンスが、7月20日（日）～23日（水）の4日間、神奈川県湘南国際村を主会場に開催され、熱い議論と有意義なフィールドトリップを行った。韓国から8人、日本から17人が参集。大阪YWCAからは、会員の雀部真理、秦榮和が参加した。

* *

今回のテーマは「YWCAが若い女性に提供しているセーフスペースとは？」人権・平和・居場所」であった。1日目は、特定非営利活動法人BONDプロジェクト代表の橘ジュンさんの基調講演で、日本社会の少女、若い女性を取り巻く現状と課題について学んだ。その後、「敗戦80年を踏まえて、セーフスペースが求められる現状の共有」をテーマに日韓双方からナショナルレポートが発表された。

昨年末、韓国で戒厳令発動に対する市民によるデモ活動が繰り返された広場で、韓国YWCAのウンビさんが行った演説が韓国メディアでも取り上げられるなど、情勢不安のなかで逞しく行動する若い女性リーダーの姿に熱く励まされた。



桜本地区の教会で

2日目は多文化共生を实践し、官民一体でヘイトスピーチ禁止条例の策定まで実現した川崎市の桜本地区を訪ねた。日本では参議院選挙の直後であったが、「日本人ファースト」に象徴される「正義」をまとった排他主義に対する断固とした応答がそこにはあった。そして、世界人権宣言の起草に関わったE・ルーズベルトの「暗闇を呪うくらいなら、ローソクに灯をともしましょう」という言葉が想起された。ROOTS（根っこ）ではなく、これから前を向いて歩む私のROOTES（道筋）のスタート地点となった。

（会員 秦 榮和）

Books 編集部文庫

『きみは赤ちゃん』

川上未映子 文藝春秋



著者が妊娠、出産し、育児をする過程でおきた体の変化や葛藤などを綴ったエッセイ。妊娠する事、子育てをする事の大変さを知るだけではなく、自分とは違う性、身体、感覚、立場におかれている人を知る努力、考え続ける事の大切さを教えてくれる。子育てに関係ある人もない人も、全ての人に読んで欲しい。

7月5日（土）、東エルサレムYMCAのピーター・ナシル総主事を迎えての講演会が、大阪YMCAで開かれました。折からの国際情勢で来日決定が押しつつも、迅速にYM・YWの協力体制が生まれ、約70名が参加しました。

現地の生の声は圧倒的でした。ガザに続き、西岸地区の報告。拘束される70%が23歳以下、そのうちの約7割が何らかの性暴力を受けているという事実。西岸地区在住のピーターさんは、自身も毎日が安全とは感じられない緊張状態の中にありながら「ガザの状況を前に、西岸について語ることに罪悪感を覚える」と前置きされました。ニュースを知るだけではなく、人として

現地でのトラウマを負う子どもたちへのカウンセリングでは、まず二つの道があることを説明する、と。一つは破壊の道、一つは愛と平和の道。どちらを望むかを問うと皆、後者を選ぶとのこと。よりよい未来を選び取るうとする子どもの魂に、こちらが教えられました。「私たちに何ができるのか」の問いに行動をもつて答えていくのはこれからです。

（会員 宮崎 祐）



「今、パレスチナで何が起きているのか、そして私たちに何ができるのか」

聖書の言葉

喜ぶ人と共に喜び、泣く人と共に泣きなさい。

（ローマ書12章15節）



未来へ——安心を創る

FUJIKI 藤木工務店

大阪本店 〒541-0051 大阪市中央区備後町1-7-10
ニッセイ備後町ビル1階
TEL06-4964-8700

100年の信頼と実績（明治10年創業）

【お客様へ快適なオフィス環境を】

- ・DX・働き方改革
- ・OA機器・インターネットセキュリティ
- ・経費削減



株式会社野村
〒550-0032 大阪市東区江戶堀1丁目22番7号
Speed, Innovation & mind TEL 06-6970-7575 / FAX 06-6970-7595

https://nogi.co.jp

7月22日～8月8日の3週間、日本語夏期集中コースが開講されました。今年、当校卒業生が日本語講師をしている台湾の国立台中科技大学から、先生の引率で大学生16名の参加がありました。他にも台湾、中国ほか世界各国から、また日本人でも生まれも育ちも外国で母語は英語という学生も参加され、総勢40名4クラスでスタートしました。

最終日は浴衣体験をして修了パーティー、修了式です。校長先生から一人ずつ修了証書を受け取った後、3週間で学んだ日本語を使ってクラスごとに寸劇やスピーチなどを披露、楽しい学習発表会でした。これからも頑張って日本語の勉強を続けてほしいと思います。

(職員 桑原 静枝)

大阪YWCA専門学校 2025年 日本語夏期集中コース



お好み焼きパーティー



ちぎり絵のウチワ作り

秋から始まる

子どもと子どもの本の講座

「ストーリーテリングをたのしむ」

ストーリーテリングとはお話を覚えて語ることです。

10月6日、20日、27日、11月10日、17日
(すべて月曜日)

全5回 ¥11,000

講師:仲上幸子、岩田淳子、立野智子



「子どもに本を手渡すために」

ブックトークや本の選び方を学びます。

12月8日、15日、1月26日、2月16日、
3月9日 (すべて月曜日)

全5回 ¥11,000

講師:中西美季、川上博幸



12/6 (土)

12:00～15:00

クリスマスバザー

今年も大阪YWCA本館で実施します
たくさんのご来場お待ちしております

2nd Asia Pacific Christian Youth Assembly

アジア太平洋クリスチャン・ユース総会報告

2025年8月19日～8月23日

韓国大学YMCAが主催するプログラムで、アジア太平洋地域の12か国から約80人のユースが韓国のパジュに集まりました。テーマは「AI時代における気候危機と平和」です。私たちが現在直面しているこれらの問題に対して、国際的な連携と協力を強化するためのコミュニティ作りが大きな目的でした。国境を超えて集まったユースが、AIが持つ脅威と可能性について共に学び考えながら、実際に大自然に触れたりDMZという北緯38度線付近の非武装地帯を訪れたりしました。この5日間で私の中に大きく残っているのは、やはり人との繋がりでです。連携や協力があったからこそ成せることがあると感じる機会が多く、繋がれる人がこんなにもいるのだと知ただけでも希望が感じられました。このような機会をいただけたことに心から感謝しつつ、コミュニティ作りに参加していけるよう、人との繋がりがこそ大切にできる人でいたいと思われました。

よどし
(職員 吉年 唯音)



干潟を見学

協力ありがとうございます

25/7/1～25/8/31 敬称略順不同

賛助費

池田 洋子 伊藤 景子 神屋敷絹恵

川上 光子 後藤ゆかり 西条 哲

笹部 真樹 沢田 陽子 関根 久子

田中 英子 谷川 毅 端野 昌彦

寺中 裕子 中山ゆかり 藤井 保男

堀西 敦子 松江 訓子 松田 慶子

三澤 文子 山崎久美子 山東 史子

山本 昌子

内坂 建 川上 悦子 瀬田 美香

寺脇さつき 都木 恵子 平櫛 紀子

前川 契子

【寄付】

【奨学金】

有山 正俊 岡部 順子 平野千代子

森垣友二郎 匿名1名

【点字】

栗野 陽一

【その他】

木下 和江

【募金】

30口 404、511円

7月運営委員会報告

【報告】▼女性エンパワメント部 6/14「女性向けファイナンシャルプラン」セミナー実施 ▼千里委員会 7/5千里でお茶を「遺言書の書き方」開催、35名参加

【協議】①クリスマスバザー事前の担当、当日の売り場担当部署・責任者案検討 ②次期LA申請の可能性検討

【お詫言と訂正】

8月号2面リード文4行目の記載に間違いがありました。お詫びして訂正いたします。(誤)2005年(正)2015年